

2021年7月12日

日本銀行松山支店

愛媛県金融経済概況

1. 概観

愛媛県の景気は、持ち直しつつあるが、新型コロナウイルス感染症再拡大の影響から足踏み感がみられる。

すなわち、個人消費は、持ち直しの動きが一服している。住宅投資は、横ばい圏内で推移している。設備投資は、増加している。公共投資は、減少している。こうした中、生産は、下げ止まっている。雇用・所得をみると、弱めの動きがみられている。この間、企業の業況感（業況判断）は、横ばいで推移した。

2. 各論

(1) 需要項目別動向

公共投資は、減少している。

輸出は、下げ止まっている。

設備投資は、増加している。

個人消費は、持ち直しの動きが一服している。

大型小売店¹販売は、緩やかに持ち直している。コンビニエンスストア販売は、弱い動きとなっている。家電販売は、増勢が一服している。乗用車販売は、減少している。

この間、主要宿泊施設および主要観光施設の入込みは、低調ながら、持ち直しに向けた動きもみられる。

住宅投資は、横ばい圏内で推移している。

¹ 県内の百貨店、スーパー、ホームセンター等。

(2) 生産

生産は、下げ止まっている。

業種別の生産動向

織 維	幾分持ち直している。
紙 ・ パ ル プ	持ち直している。
化 学	持ち直している。
プラスチック製品	幾分持ち直している。
非 鉄 金 属	横ばい圏内の動きとなっている。
食 料 品	横ばい圏内の動きとなっている。
一 般 機 械	弱い動きとなっている。
電 気 機 械	増加している。
輸送機械（造船）	低調に推移している。

(3) 雇用・所得

雇用・所得をみると、弱めの動きがみられている。

有効求人倍率は、前月比上昇した。名目賃金、常用労働者数は、前年を下回った。

(4) 物価

松山市の消費者物価（除く生鮮食品）は、前年並みとなっている。

(5) 企業倒産

企業倒産は、落ち着いた動きとなっている。

(6) 金融情勢

実質預金、貸出金とも前年を上回っている。貸出約定平均金利は、前月比低下した。

以 上